



第27回渋川褥瘡ケア研究会 写真レポート

日時：令和元年7月8日（月）午後7時～8時30分

場所：渋川ほっとプラザ4階 / 司会：渋川医療センター 特命副院長 棚橋 美文 先生

○講演 「スキン-テア（皮膚裂傷）の予防と管理」

※摩擦やずれによって、皮膚が裂けて生じる真皮深層までの損傷

渋川医療センター 真藤由美子 看護師（皮膚・排泄ケア認定看護師）



褥瘡とスキン-テアの違い		
	定義	深達度
褥瘡	持続的な圧迫とずれが加わって起こる皮膚障害	虚血性障害であるため壊死に陥ると骨まで至るような深さになる
スキン-テア	一過性に強い外力が加わって発生する皮膚の裂傷	摩擦が大きな原因のため真皮深層までと浅い

原因を取り除く方法が異なってくる

スキン-テアではない除外例
・寝具や車椅子等による持続した圧迫やずれで皮膚が剥がれた⇒褥瘡
・医療機器による持続した圧迫やずれで皮膚が剥がれた⇒医療関連機器圧迫創傷:MDRPU
・失禁患者のおむつ内の皮膚が炎症により皮膚が剥がれた⇒失禁関連皮膚障害:IAD



（講演資料より一部抜粋）

職種別参加人数			
職種	人数	職種	人数
医師	5	薬剤師	2
保健師・看護師	43	介護員	59
栄養士	4	MSW・相談員	3
その他	7	合計	123



今回はスキン-テア（皮膚裂傷）についての講義です。ここ数年研究がすすんできた分野で、参加者の半分以上の方がまだ聞いたことがない様子でした。※上部講義資料参照

スキン-テアは再発しやすいため、原因を明らかにして予防対策をたてるのが大事とのことです。アセスメントなどで施設・事業所内で情報を共有し、未然に防げるとよいですね。また褥瘡もそうですが、スキン-テアについても栄養管理により予防効果があるとのことで改めて栄養の大事さを感じました。通常ですと褥瘡より痛みが強いようですが、認知症がある方は痛みに気づかない場合があるので要注意です。

スキン-テア情報については「日本創傷・オストミー・失禁管理学会」WEBサイトより入手できるとのことでしたので、ご活用ください。

研究会に参加するたびに日々、医療・介護情報は更新されていることを感じます。

当センターでも皆様に旬な情報をお届けできるよう心掛けていきたいです。

【次回開催予定】 令和元年11月11日（月）午後7時～／ほっとプラザ4階

「高齢者や寝たきりの方の熱傷について」（仮）

講師：渋川医療センター 医師 山中 正義 先生